

みんなで「こども館」をつくろう！ 建築・デザインワークショップを開催！



こども館（仮称）づくりの流れ

①キックオフ・フォーラム

②関係団体ヒアリング

③プレワークショップ

④建築デザインワークショップ

第1回 知る 平成24年9月9日(日)

第2回 考える 平成24年9月30日(日)

第3回 描く 平成24年11月18日(日)

第4回 まとめる 平成24年12月8日(土)

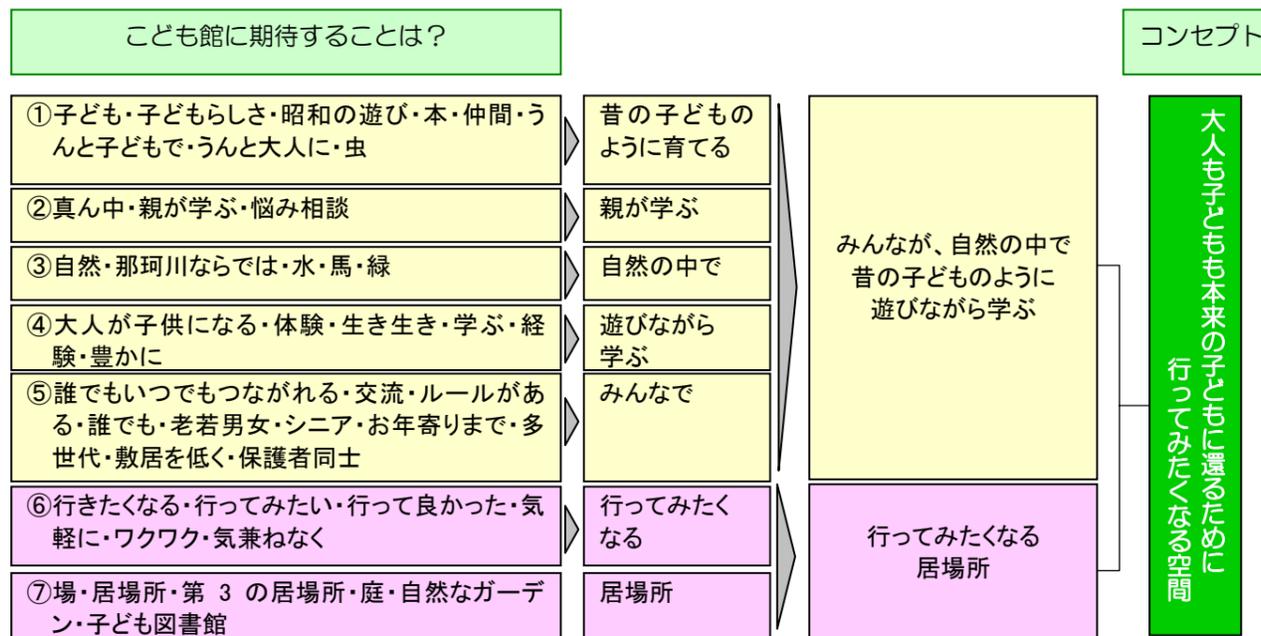
⑤展示公開型パブリック・コメント

⑥実践子ども学レクチャー

建築デザインワークショップは、キックオフ・フォーラム、プレワークショップで聞いた住民のみなさんの意見や関連機関ヒアリングをもとに、建築家や専門家とともに、こども館（仮称）の基本計画や設計に役立てようという目的で開催していきます。

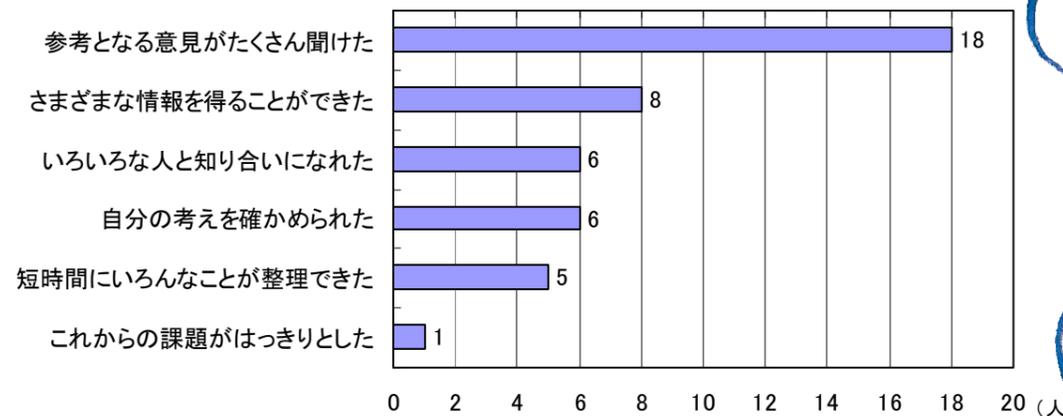
11月18日(日)、ミリカローデン那珂川多目的ホールにおいて「那珂川町こども館（仮称）づくり 第3回建築デザインワークショップ」を開催し、34人の参加がありました。前回のワークショップで得られた意見をもとに作成した2つの平面図を示し、部屋のレイアウトとそこで行う活動を考えました。会場内に基準となる部屋の広さを例示し、空間の目安をつかみながら、プランを考えていきました。最後に、部屋名と運営方法、年間利用者数を予測し、各班で主に話し合われた内容や工夫した点を発表しました。

こども館のコンセプト案 キックオフ・フォーラムより



参加者アンケート結果(一部)

ワークショップをやって気がついたことは？



ここでしかできないことがウリになるような明るい施設にしたい

子ども達が「また来たい」と思えるようなワクワクドキドキする施設にしたい

次回のお知らせ

日時：12月8日(土) 10:00～(2時間程度)

場所：那珂川町中央公民館 講堂

回りのテーマは「まとめる」で、最後のワークショップとなります。全体プラン案を吟味し、最終案をとりまとめます。これまで積み重ねてきたみなさんの意見を、どのように計画に反映させていくのか、最後まで一緒に考えていきましょう。

お問い合わせ先 那珂川町役場 子育て支援課 TEL (092) 953-2211 (代表)

空間の活用方法を考える

ホール・アリーナ2層案

6班

2階に「視聴覚、学習室を屋上で天体観測ができる」といいます。

1階 小さい子
2階 相談、水遊び小学生

年間入場者数 21,600人

2班

防音の部屋が欲しい

調理室はミリカを利用

天井の高さをいなり

1階 乳幼児
2階 児童

年間入場者数 40,000人

1班

玄関ホールに吹き抜け

1階 乳幼児
2階 小学生

陽射しが入るように入りたい

年間入場者数 20,000人



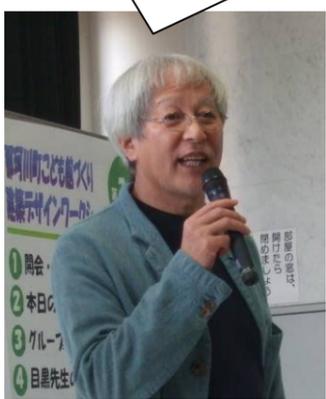
「ホール・アリーナ2層案」「ホール吹き抜け案」の2つのうち好きな方を選び、まず各人が間取りをつくってみて、それをもとにグループで話し合いを進めました。



部屋の大きさのポストイットにその空間でやりたいことを記した短冊を振り分けて、各部屋のポストイットをアクリルメッシュに貼っていきました。

目黒先生のコメント

日本にも地域に合った子どものための空間が必要だと思っていました。地域に合うものを作るには、計画段階から利用する住民が参画する「那珂川方式」のプロセスが大切だと思います。一緒に集まり、ネーミングを考えたり、入場者数を予想したりすることで、みなさんのアイデアを反映させた建物がかたちになってきます。ここで重要なのが「対話」。対話はアタマとココロ、感性の体操といえます。「那珂川に住みたい」と言えるような建物を一緒に作っていきましょう。



5班

近隣の学校体育館を利用すればアリーナは工夫すること

年間利用者 2万人

年間入場者数 20,000人

4班

他施設との連携が必要だろう

見晴らし良く1階はフリーに、外部との一体性をもって2階は仕切りあり

1日 70人
夏休み 200人 (冬)

3班

ホールにロッククライミングや滑り台を置きたい

1階 小さい子子育て支援
2階 フリースペース十学習室

広いウッドデッキで野外活動を充実させたい

年間入場者数 50,000人

ホール吹き抜け案